

**日本貨物鉄道株式会社
第5回社債(一般担保付)(グリーンボンド)**

**レポーティング
(2025年5月末時点)**

日本貨物鉄道第5回社債（一般担保付）（グリーンボンド） プロジェクト概要及び資金充当にかかるレポーティング（2025年5月末時点）

適格事業の概要		資金充当状況
	電気機関車の新製 （クリーン輸送）	全額既充当：51億円 ※全額リファイナンス
	電気機関車を新製し、老朽化した旧形式機関車の取替を行うことで、安定輸送を確保するとともに貨物輸送サービスの向上を図ります。	
	線路設備の老朽取替 （クリーン輸送）	既充当：16億円 未充当：2億円
	老朽化した線路設備や構造物等の更新・延命化を図ることで、保安度向上及び安定輸送の確保し、かつメンテナンスコストの削減を図ります。	
合計		既充当： 67億円 未充当： 2億円

日本貨物鉄道第5回社債(一般担保付)(グリーンボンド)
環境改善効果にかかるレポーティング(2025年5月末時点)

適格事業の概要	インパクト
電気機関車の新製 線路設備の老朽取替 (クリーン輸送)	・貨物輸送量1トンキロ当たりのCO2排出量 : 20g-CO2/トンkm(2022年度)

CO2排出量は営業用トラックの

約**10分の1**

貨物鉄道輸送のCO2 排出原単位は
営業用トラックの約10分の1
(2022年度)であり、環境にやさ
しい輸送機関として注目されている

貨物鉄道輸送のCO2削減効果は

3,332,000t-co2/年

貨物鉄道輸送が担う年間の輸送トンキロをすべて営業用トラックで運んだ場合と比較して、3,332,000t-CO2/年（2022年度実績）の削減効果がある

スギ林のCO2吸収効果に換算(※)すると

**東京都の約1.72倍の面積
(約378,000ha)**

※3,332,000t-CO₂ の排出削減（CO₂ 固定吸収）を
植林活動を通じて行う場合の森林面積。
林野庁ホームページより、40 年生のスギが1haに
1000本立木していると仮定して計算

【ご参考】日本貨物鉄道第5回社債（一般担保付）（グリーンボンド）発行概要

社債名称	日本貨物鉄道株式会社 第5回社債（一般担保付） （グリーンボンド）
発行年限	10年
発行金額	70億円
利率	年 1.228%
払込日	2024年6月13日
債券格付	AA-（R&I）、AA（JCR）
主幹事証券会社	みずほ証券、野村證券、 三菱UFJモルガン・スタンレー証券、大和証券
資金使途	輸送関連設備等の更新・新製（鉄道施設の老朽取替）にかかる設備資金、ならびに電気機関車の更新・新製にかかるリファイナンス資金
グリーンボンドとしての適格性	グリーンボンド・フレームワークに対する第三者評価としてJCRより「JCRグリーンボンド・フレームワーク評価」最上位評価である「Green 1（F）」の評価を取得